

コンクール入選作品

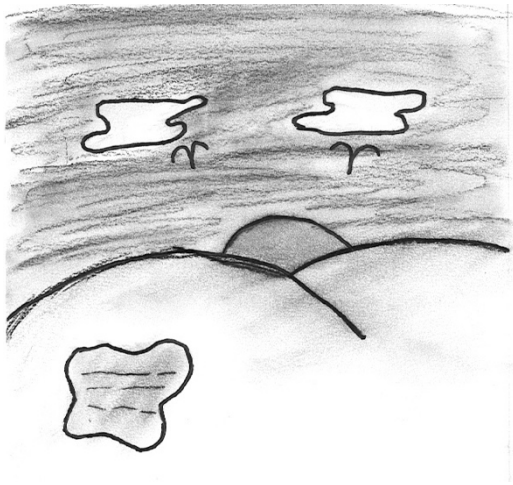
第四十六回 海外子女文芸作品コンクール

短歌部門 クラーク記念国際高等学校賞

ふくろうを もりでみつけた なつやすみ

アプリコットの ゆうやけのそら

小学部 一年 あおき さく



詩部門 文部科学大臣賞

うちゆうってどんなばしょ

小学部 一年 あおき さく

うちゆうはおおきなほこなのかな

ぼくはおおきなほこなにはいつているのかな

どせいのはわつかはランニングマシンになるかな

こおりでできているからすすしいかな

ながればしにはたからものがはいつているかな

さかなのあみでつかまえられるかな

なんでほしはいしなのひかっているのかな

ほうせきでできているのかな

うちゆうのおわりはどんなばしょかな

うえにいくとおおきくなつてしたにいくとちいさくなつて

ちかづくたびよーんとこのびるへんなかがみがあるかな

うちゆうのおわりには

かみさまのじっけんしつがあるかな

ボタンをおしたらだれかがくしゃみするそうちがあるかな

ぼくがうちゆうひこうしになったら

ロケットにのつてたしかめにいきたいな

詩部門 優秀賞

世界は不公平と

中学部 三年 藤崎 百花

弱肉強食ということわざを聞いたことがあるだろうか？
世界は不公平、世界が発展すると、これは明らかになった。
そうして、弱いものはえじきになり、
強いものは彼らを支配した。
弱いものは社会から忘れられ、影のような存在となった。
不公平なものを不公平と言おう。
スーツを着て、出勤する都市の人と貧困に悩まされる農家たちは不公平と。
安い給料で労働者をやとう大企業と潰れていく小さな会社は不公平と。
最高の設備が揃った都市の病院と空襲で崩れる施設や病院は不公平と。
堂々と頭を上げて歩く女の人と顔を隠す女の人は不公平と。
同性婚が認められる国と自由に結婚できない国は不公平と。
蛇口をひねると水を飲める地域と半日かけて水をくむ地域は不公平と。
宿題いや！学校いや！とわめく小学生と学校に通いたくても通えない子供たちは不公平と。
言論の自由がある者となない者は不公平と。
今この詩を書いた私、読めるあなた。
何一つ当然なことなんてない。
すべての自由は与えられたものであるから、世界は平等と。

詩部門 佳作

世界の面白さ

中学部 三年 佐々木南那

面白いことの話をしよう。
いつからでしょう。ふと気がつくど、
面白いという言葉、ためらわず
口にすることは、ほとんどなくなつた。
そうして日常の会話は貧しくなつた。
面白いものを面白いと言おう。
向かいの家の窓から遊んでる子どもを眺めている猫を観察するのは面白いと。
植物の成長と枯れゆく姿を見るのは面白いと。
友達と喋つてるときは面白いと。
新しいものができていく姿は面白いと。
なにかを作っているときは面白いと。
謎すぎることを言っている人の動画を見ることは面白いと。
なんでもポジティブに捉える人の思考回路は面白いと。
面白いギャグを言ったつもりが滑ってしまふ人を見るのは面白いと。
歴史の授業で予想していた結末と違う方向に行くことは面白いと。

ヒューстонではよくあるが

日本と他の国の文化の違いを知るのは面白いと。

日本で冬真っ只中の、雪が降っている日の学校では、雪合戦を先生含めクラス全員でするのが面白いと。

哲学についての論争を聞いているのは面白いと。

歴史を知るのは面白いと。

何も知らない無の状態で新しいことを学ぶのは面白いと。

一体、噂とよばれる日々の破片が、

わたしたちの価値と言うようなものだろうか。

面白い毎日こそ、わたしたちの価値だ。

面白いものを面白いと言おう。

音楽関係の話をしているときは面白いと。

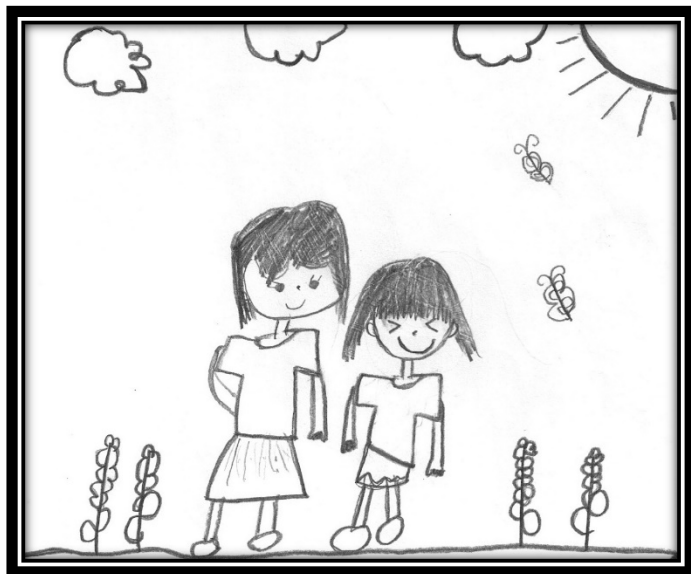
新しい思い出を作っていつの間にか過去を忘れる。

何ひとつ永遠なんてなく、いつか

すべて過去の記憶は消えるのだから、

世界は面白いと。

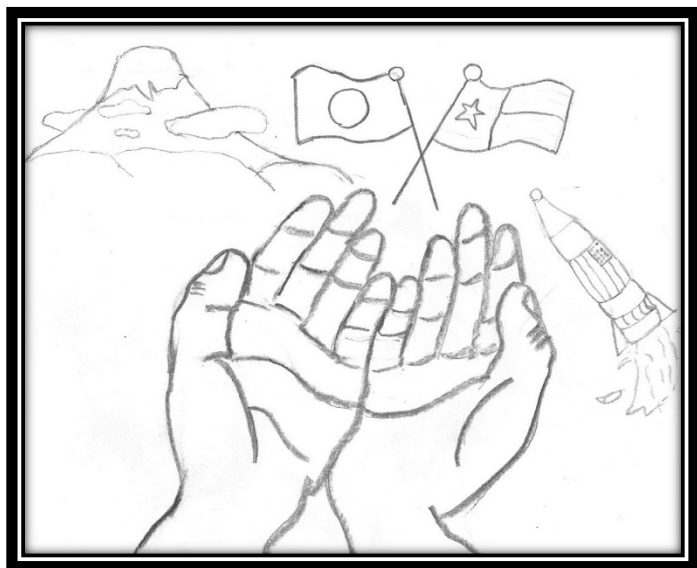
ブルーボネット表紙絵佳作



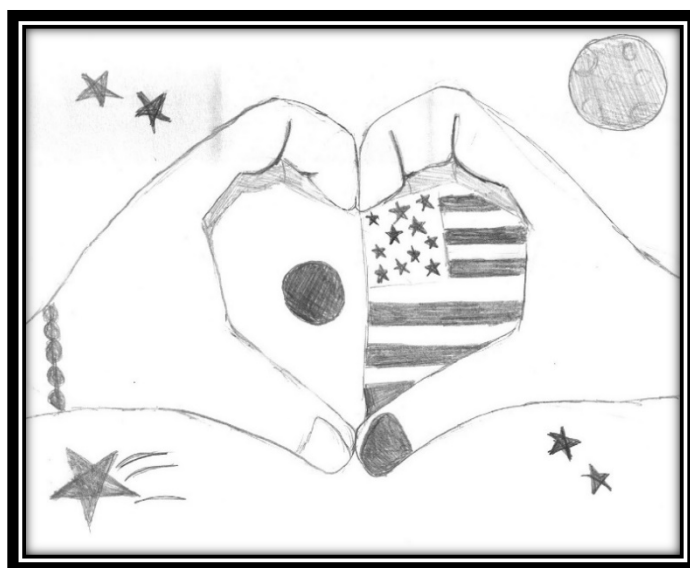
幼稚園星組 百瀬 千桜



小学部2年D組 新保 舞奈



小学部5年A組 合田 紗菜



中学部2年A組 清家 羽菜